

ゆめっこだより 平成28年 9月号

社会福祉法人 いちにわたけのこ会 ゆめっこ保育園 TEL35-2758

平成28年9月1日発行

子ども達が帰った後の保育室に鈴虫のリンリンなく声が響きます。少しずつ秋の訪れを感じますね。

先週はプールじまいがありました。今年の夏は、思いのほか暑く、プールの涼しさに大満足、水から出るのがイヤで泣き出す子もいるほどでした。どの子も「見て見て」と自信たっぷりです。プール開き同様、プールじまいも、保護者のお母さんが来て下さいました。「よく頑張ったね」「もう少し顔を下につけたらうまくいくよ」と、適切なアドバイスももらって大張り切りでした。各クラス出来ることを披露しましたが今年はオリンピックと重ねさくらひまわりはシンクロナイズドスイミングに挑戦、アナ雪の曲に合わせて手足を伸ばしたり、あお向けにねたり、最後のプールにふさわしく拍手をいっぱいもらって、日に焼けた顔は一回り大きく見えました。「頑張ったね」のメダルをかけてもらい嬉しそうでした。

8月8日は、平和の集いをしました。地元のご夫妻に来ていただき、昭和20年8月5日夜、用海地域が米軍の空襲を受け焼け野原になったこと、6日広島、9日長崎に原爆、15日終戦と、たった10日間の間に、日本にどんな大変なことが起こったかよくわかりました。この10日間にどれだけ沢山の人の命が救えたでしょう。さすが元幼稚園の先生、とってもわかりやすく話して下さいるので、子ども達もいろいろな質問をしていました。お母さん達もこの2週間、平和月間としてお仕事で疲れて帰ってきているのにもかかわらず子ども達と一緒に絵本を読んで下さいました。子ども達も嬉しそうでした。自分だけでなくどの命も大切にすること、子ども達の心に少しでも残ったことと思います。

10周年の集いと記念誌の作成を始めています。大変忙しい中ですが、身の丈にあったささやかな行事をと話し合い進めています。ゆめっかも丸10年、あつという間と言えば、そうですが、西宮で20時までの保育園として、子ども達がホッとできるように、園庭のない中でどんな身体作りをしていくのか、どんな保育をしていくのかみんなで話し合い進めてきました。子ども達の心を育てる素敵な仕事なのに保育士不足は深刻です。この問題によりやく陽があたってきた今日この頃ですが、西宮の子ども達が大切に育てられ、地域に根差す、そんな保育園が広がっていけばいいなと思います。

プールを終えて運動会の取り組みが始まります。しっかり眠れているか生活習慣を振り返って下さいね。しっかり水分補給していきましょう。



*9月9日(金)のグランドパママの日はおじいちゃんおばあちゃんの参加を楽しみにしています。是非ご参加下さい。(詳細は後日配布します)

*10月9日(日)は運動会です。今年から園でのビデオ撮影はなくなり各家庭での対応になります。御了解ください。

運動会当日の準備等いつもお手伝い頂きありがとうございます。保護者の方で当日軽トラック、ワゴンのご協力いただける方お知らせください。よろしくお願ひいたします。

*運動会リハーサル9月21・28日(水) 予行日10月6日(木)です。

行事予定

9月 8日(木) 5歳児 用海小学校見学
9月 9日(金) グランドパパ・ママの日
9月12日(月) 月例健診
9月14日(水) 誕生日会
9月16日(金) お月見会
9月20日(火) 避難訓練



保団連合同研究集会(合研)の感想(8/20~22in 島根)

「広げよう平和への願い・つなげよう保育・子育ての輪」

- ◎今年、初めて合研に行きました。歌とダンスの講座では、会場にいる全員で、手をつなぎ、歌ったり、踊ったりすることで、とてもたのしく温かい気持ちになりました。子育て講座では自分の考えが変わる話がたくさん出てきて、これからの保育に活かしていこうと思いました。平和についての講演もあり、20才で出兵した男性が「この鉄砲がゴボウだったらナー」と妻に送った手紙の内容を聞き、戦争の悲しみ、苦しみがこの一言で伝わってきました。平和のことをより考えた研修でもありました。
- ◎全国から沢山の保育士が集まり、【学びたい】熱気でいっぱいでした。前は上の娘がおなかにいる時の東京合研に参加し今回2回目の参加です。子ども2人は夫が頑張って見てくれました。(感謝)身体づくりの分科会に参加し、初の司会…。しゃべること苦手やしと思いましたが、思い切って引き受けました。名古屋、島根、広島の方たちの提案を聞いてどこの方も「子ども達のために」と悩み考えうまくいったら喜びうまくいなくて涙……。【ああ同じだった】と共感することがいっぱいでした。初めての司会で要領も得ずボロボロでしたが、会場の人たちの温かい雰囲気のおかげで何とか終わりました。年齢が行くにつれて新しい挑戦なんてないと思いますが、やってよかったと思います。3日間快く送り出してくれた園のみんな、娘二人と奮闘してくれた夫に本当に感謝です。島根合研に参加できて本当に良かったです。研修に行くと子ども達に早く会いたくなります。楽しいことをいっぱいしてみんなの中で大きくなってほしいな～と思いが膨らみます。
- ◎小さな県の大きな挑戦、そんなスローガンでスタートした島根合研、スタッフの方の優しい雰囲気や落ち着いた対応を見ているだけで合研初日を気持ちよくスタートできました。全体会のホーランエンヤはとても見ごたえあるもので地元の方、保護者、子ども達の団結する姿を感じました。保育士や保護者の心を合わせた歌を聴き、自分も舞台上昇って「僕ら太陽の子」を歌いました。振り付けがあるなんてその場に行って知りましたが、簡単なものですが踊れるようになり一体感を持てるようになりました。フォーラムでは3人の方がお話してくださり今の乳児期、保護者、保育士を取り巻く環境が以前とは変わってきているのを強く感じました。4人に一人の保育士が働いて1年以内に離職しているということは衝撃でした。21日は5歳児の保育に参加し3つの提案を聞きました。ここ何年間で保育の形態が変わってきているのを目の当たりにしました。認定こども園、分園など多くに取り組むところが増えそれに付随して保育士の移動…それも大人数のクラスから少人数のクラスへ、と変動の激しさ、またその逆もあり、子どもの人数によりクラスの編成もいろいろな形があり想像以上の苦労や努力を感じました。また今の子どもの姿として、幼すぎて喧嘩ばかりする、大事に育てられすぎて相手の気持ちに気づきにくい、思いを自分で語れないなど5歳児に多い姿を認識できました。達成感の持てる保育に繋げていきたいと思えます。